

GOGO道後運動会

9月25日・10月6日



9月25日(日)と、雨のため延期となった10月6日(木)に「GOGO運動会」が開催されました。
『みんなで創れ史上最高の五つの夢の輪』をスローガンに子どもたちは、一生懸命頑張っていました。

☆ PTA競技 「晴れたらいいね！」 ☆

今年のPTA競技は、「晴れたらいいね!」でした。

洗濯物の入ったバケツを運び、物干しに干して速さを競います。洗濯物はチームによってタオル・ワイシャツ・Tシャツ・靴下・ぬいぐるみと異なります。

参加チームは、おやじの会、PTAクラブ（図書クラブ、ソフトバレー）、教職員、保護者Aチーム、お母さんチームの5チーム。

子どもたちの声援の中、さあ、どのチームが手際よく洗濯物を干せるのでしょうか？



図書クラブ



団結力の勝利です!



おやじの会

普段洗濯物を干し慣れている主婦が多いチームが有利ではないか?? という予想の中、優勝は、やはり、お母さんチームの皆さんでした!! さすがですね~!
PTA競技にご参加いただきました皆さん、楽しくがんばる姿を見せていただきまして本当にありがとうございました。



☆がんこおやじの会かき氷☆
毎年ありがとうございます!

危険ポイントをチェック!!

PTA地区集会 社会教育部 7月8日



安全マップ作りでは地区ごとに分かれ、見通しの悪い交差点、交通量の多い道、水路、事故があった場所、現在工事中箇所、および雨による増水箇所など具体的な危険箇所について、子どもたちが安全に過ごせるよう、社会教育部を中心に参加いただいた67名で真剣に話し合いを進めていました。

地区ごとに危険箇所や注意点を発表し、情報を共有しました。子どもたちにも危険な場所を伝え、一旦停止するなど指導を行うことや、子どもだけで出かけた時には、戻ってから話を聞いて様子を確認する事も必要であるという意見も出ました。

また、不審者対策として登下校時の名札着用について懸念の声も出ていました。



3Aブロック講演会 「章光堂、ここにヒーローたちがいた」

講師 愛媛大学教育学部教授 佐藤栄作先生

7月3日(日) 愛大附属中学校講堂・章光堂にて、今年度の3Aブロック講演会が開催されました。当日は、真夏の暑さとなりましたが、3Aブロック各校から100名ほど、道後小学校からは、厚生共育部・講演会系の皆さんをはじめ、15名が出席しました。地域の歴史的価値ある素晴らしい建物を、身近に感じるよい機会となりました。

祝10周年 **学校でキャンプ in道後**

 **今年も暑かったら**

キャンプ実行委員会・おやじの会 7月23日～24日

今年度で10回目を迎えたPTA主催「学校でキャンプ in道後」が夏休みに開催されました。参加した児童と保護者は約434名で、おやじの会、先生、守るんジャー、PTA ボランティアなど総勢約510名の参加となりました。



風に飛ばされる～

「友達とテントで過ごすのが楽しみです」と、5年生の女の子たちが楽しそうに話してくれました。子どもたちよりも大きい段ボールをダンボールカッターで切って、ガムテープで貼って…。平面から立体へ。暑い日射しのなか、真剣なまなざしで、協力しながら作成。



全部で18基

阪神淡路大震災と同レベル、震度7の揺れを体験しました。起震車に乗った一年生の男の子は、「しゃがんでいても身体が勝手に転がりそうだった。ものすごく揺れた。」と話してくれました。

シューッとという勢いのある音と共に、避難用救助袋から子どもたちが順番に滑り降りてきます。みんな真剣な表情で避難訓練ができていました。「摩擦で火傷しそう」「怖くはなかった」「あまり滑らなかった」などそれぞれの感想が聞けました。



起震・衝撃体験



避難用斜降式救助袋体験



PTAクラブ



今年はキーマカレー



今年もたくさんの思い出をありがとう！

キャンプ実行委員会、お手伝いしてくださった先生、おやじの会、ボランティアの皆さん、暑い中お疲れさまでした。

夏だ! 暑い! プールが気持ちいい~!!



夏休みプール開放 PTA 執行部・学校教育部 7月26日～29日 計4日間



PTA執行部による水温・水質調査



学校教育部による参加児童受付



おやじの会による準備体操

取材を行った27日は67名の児童が参加していました。

参加児童保護者を含めた皆さんで、10の監視ポイントから児童の安全を見守ってくださいました。年々、参加人数が減り、開催日も短くなっているようで、おやじの会の方が寂しがっていました。暑い中、皆さんありがとうございました!!

大切な命を救うため 

救命講習会 学校教育部 7月4・5・10日

松山東消防署による「救命講習会」が3日間にわたって開催されました。心肺蘇生・AEDの使用法など、救命処置と応急手当について学び、参加者からは「救急隊が来るまでの一次救命処置を行なうか否かで救命の可能性が約2倍も違う事がわかった」、「早めの対応がとても大切だと改めて感じた」、などの感想が聞かれました。保護者計98名が参加し、いざという時のために正しい知識と技術を身に付けるよい機会となりました。

